

グリーントマト

発行責任者 中田慶子
〒850-8799長崎中央郵便局 私書箱第7号
FAX 095-832-8488 DV防止ながさき
HP : <http://www.no-dv-nagasaki.net/>
E-mail dv_greentomato@yahoo.co.jp
郵便振替口座 01730-6-103415

2024 謹賀新年

元旦に能登半島に大きな被害をもたらした地震は、いまだに余震が続き、道は寸断、支援も思うようには進まず、これからの雪の季節が心配されます。2日の羽田空港での飛行機衝突事故も、JAL機のほうは奇跡的に乗員乗客は無事でしたが、被災地への救援任務に当たっていた海上保安庁の飛行機では、6人中5人の命が失われました。想像を超える出来事の連続に、ショックで呆然としてしまいます。一方、世界では、クリスマスや新年も無関係に、ガザやウクライナ、その他各地での戦争は続き、市民や子どもたちに多くの犠牲者が出ており、心底怒りを覚えます。天災や事故は、残念ながら、どんなに努力しても人の力では避けられない面がありますが、戦争は、人が、国が、始めるものであり、どこかで誰かが止めることができたはずのものです。どんな形であれ暴力はあってはならない、戦場での死もあってはならない、誰かの命を左右するのが同じ人間であってはいけない、と強く思います。ましてや、安全であるべき家族の中での暴力や暴言による支配は、絶対に許されないことです。

能登の地震被害はまだ全体が見えないままですが、被災者の方々、とりわけ女性や高齢者、子どもへの安全対策が十分配慮されることを願います。お知り合い、ご友人が彼の地におられる方々にとっても、無事を祈るしかないつらい時間が続きます。どうかこれ以上、地を揺らすことなく、鎮まってほしいと祈ります。

悲しい報道が続く中、私たちにとって嬉しい知らせもありました。お茶の水女子大学名誉教授の戒能民江さんが、女性の人権を守る法整備への長年にわたる貢献により、朝日新聞社の「朝日賞」を受賞されたのです。1992年、日本で初めてのDV被害者の実態調査をされて以来、長年、DV被害者に寄りそった研究活動を続けて来られました。1995年の北京女性会議の後、日本国内でもDV防止法制定への機運が盛り上がり、超党派で2001年に「配偶者暴力防止法」（DV防止法）が成立、2023年の性暴力に関する刑法の改正（「不同意性交等罪」の新設）、この4月から施行される「困難な女性の自立を支援する法律」の制定など、どの法制定・改正にも戒能さんの力がありました。現在、国が強力に押し進めようとしている「離婚時の単独親権を今後は共同親権に」、という動きに対して、単独親権維持の立場から、国の委員会などで発言をされています。

法や制度があっても、そこにちゃんとつながれなければ、支援は無いのと同じです。転んだ時、元気な人はひとりで立ち上がれますが、力が弱っていたら、誰かの手を借りて立ち上がる必要があります。そんな支えに、誰でも、どこでも出会えるような社会であるように、そんな「初夢」を見えています。

アフリカのことわざに、「早く行きたいなら一人で行きない、遠くへ行きたいならみんなで行きなさい」という言葉があります。

1人の力は小さくとも、皆で力を出し合い、今年も一歩ずつ進んで
いきたいものです。どうぞよろしく願いいたします。

理事長 中田慶子



「DV根絶のための連続講座」

令和5年11月26日（日）アマランス研修室で開催



2003年に「DV根絶のための連続講座」を開始して20年、講座の内容を毎年検討し、その時々に必要な最新情報を市民の皆さんにお届けしてきました。今年も、「昨今の性暴力の刑法改正」、「性の多様性」、「DVと子ども」について、各分野の専門の方にお話を伺いました。

今年の参加者は5コマで延べ161人、企画内容や講師などに興味を持たれて参加した方がほとんどでした。初めて参加の方も含めて満足度は平均96.9%と高く、実施して良かったと安堵するとともにこの講座の必要性を改めて感じました。

毎年、「女性への暴力防止週間」の前後に開催する予定ですので、ホットな知識を得るために、是非ご参加ください。

＜感想の一部をご紹介＞

- ・それぞれの講師の熱量が伝わってきました。法律改正の詳しい内容が知れて良かったです。自分自身の性別判断の刷り込みを自覚しました。もっとフラットになることを心がけたいです。高比良さんの自身の体験からの子どもの不安など、とても分かりやすかったです。
- ・全ての講座の内容が充実していた。良い講座ばかりで大変勉強になりました。
- ・なかなか女性相談に関する講座や講演会の機会が少ない中、1日びっしりと様々な視点からDVについて学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・質問したいことがたくさんあったので、その時間があると嬉しかったです。
- ・児童相談と家庭環境について掘り下げた話を聞きたい。
- ・今日の「DVと法律」「DVと警察」、とても良かったのですが、時間の関係で駆け足でした。じっくりゆっくり受講できる機会があると良いなと思いました。

回	時間	内容・講座テーマ	講師
	10:00～10:05	初めに	男女共同参画推進センター センター長 坂本 恵子
1	10:05～11:20	「DVと法律」 ～性暴力の刑法改正、DV法改正、女性自立 支援法で何が変わるか？～	中西総合法律事務所 弁護士 太田久美子 さん
2	11:30～12:30	「DVと警察」 ～DV被害への警察の対応について～	長崎県警察本部生活安全部 人身安全・少年課 課長補佐 野村 政和 さん
	12:30～13:20	— 昼 休 み —	
3	13:20～13:50	現在のDV被害者支援の取り組みなど (JICA作成動画紹介)	
4	13:50～15:00	「多様性と可能性」	Take it! 虹 代表 儀間 由理香 さん
5	15:10～16:20	「DVと子ども」	みなみやまて こども家庭支援センターびいどろ 副センター長 高比良 亮 さん
6	16:20～16:40	まとめ (質疑含む)	NPO法人DV防止ながさき 理事長 中田 慶子

☆DV被害者支援資質向上研修会のお知らせ☆ (長崎県委託事業)

「ACEサバイバーへの支援」

～子ども期の逆境の影響を理解し、支える関わりとは～

2024年1月28日(日)13:30～16:00 開場13:00～

場所:長崎市立図書館 多目的ホール 無料

講師:三谷 はるよさん 龍谷大学社会学部准教授



2014年大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士(人間科学)。
大阪大学大学院助教、龍谷大学社会学部専任講師を経て、2020年から現職。
第3回福祉社会学会奨励賞(2015年)、第15回日本NPO学会賞林雄二郎賞(2017年)
を受賞。専門は、福祉社会学、家族社会学。福祉・家族・子どもをめぐる問題や実践につ
いて、社会調査による実証研究を行っている。

1980年代以降、アメリカで研究が始まった子ども期の逆境経験(ACE—Adverse Childhood Experiences)については、今、日本でもさまざまな研究がおこなわれています。ACEスコアの10項目(身体的虐待、心理的虐待、性的虐待、身体的ネグレクト、心理的ネグレクト、親との別離、DV、家族のアルコール・薬物問題、家族の精神疾患・自死、家族の服役)は、DV家庭でも共通している項目が多いことがわかります。ACEの影響を幼少期から軽減することはとても重要です。また逆境経験を越えてきたサバイバーを支援するためには、その生きづらさを理解することが大切です。国内の様々なACE研究の成果を知り、日々の支援に生かす道を探りたいと思います。多くの方のご参加を待ちします。

締切: 会場のみ26日まで オンライン申込みは24日まで

問い合わせ・お申込み NPO法人 DV防止ながさき

FAX 095-832-8488 メール dv_greentomato@yahoo.co.jp

*氏名、所属機関、職種、連絡可能な電話番号、メールアドレスを
明記の上、お申込みください 先着順・無料

←著書「ACEサバイバー～子ども期の逆境に苦しむ人々」
ちくま新書 2023



長崎市アマランスフェスタに参加

10月1日(日)10時～16時 アマランス(市民会館1F)

今年も、暴力被害を受けた「私の気持ちをTシャツに!」を、テーマに被害者の声を書いたTシャツの展示を行いました。

私は一人じゃない、元気に今も生きてます、みんなにも知ってほしい、暴力が二度とないように。DVやデートDVを説明したパネルも展示しました。

じっくりと見てくださる方もいて、立ち寄り人数は158人と昨年よりも多かったです。

当会の活動の紹介、電話・SNS相談などを案内することも出来ました。

来年は皆様もお出かけください♪



展示の様子→

昨年は 2つの予防教育講師養成講座を開催しました

恒例 2023年（令和5年）度 DV予防教育指導者スキルアップ講座の開催！

毎年、長崎県の委託事業の一環として開催しているDV予防教育の指導者養成講座は、今年度もオンライン形式での開催となりました。

8月19日・20日の2日間に分け基礎講習とグループワークを実施しました。

参加者は県内の学校関係者、相談員、支援団体、これから予防教育をやりたい方など31名の方々が参加されました。1日目は、「デートDVの基礎知識と生徒への対応」、「親のDVが子どもに及ぼす影響」、「DV予防教育の実際の進め方」、など盛りだくさんの内容でした。



2日目のグループワークでは、中学と高校の小グループに分かれて模擬授業を実施。経験者や初めて授業を経験する方まで、皆さんの前で話すことにより授業を実感してもらい、ファシリからの助言や意見交換によって授業スキルを少しでもつかむことが出来たのではないのでしょうか。また、授業を実施する者が常に自覚しておかねばならないことや気をつけることについてじっくりと学ぶ機会になったと思います。参加された皆さま本当に疲れさまでした。今年度は参加できなかった方も、来年度は是非ご参加ください♪

感想（一部）

- DVに関して、改めて学習する機会を得て良かったと思います。
- 自宅から参加が出来るため、移動の時間がなくなり参加しやすいところが良かったです。
- いろんな方の話し方や新しい情報を学べることができて良かった。毎年、勉強になります。
- 基本的なことは何回聞いても勉強になるし、新しい知識の学びも毎回あるので一年に一度は自身のやっている授業を振り返る意味でも大切だと思う。
- 具体的な例などをあげながらの話でとても分かりやすかった。現在、扱っているケースを思い浮かべながら聴くことができた。

初！ アマランス主催 デートDV予防授業者養成講座スタート！

当会は、毎年100校近くの学校で約15,000人の生徒にデートDV予防授業を届けてきました。一人として授業専門のスタッフがいないうち、時間をやりくりして何とか実施してきましたが、講師も毎年高齢化してきますので、授業者養成が急務となっていました。

そこで今年度は、長崎市アマランスとの共催で本格的に授業者養成講座を6月5日から開始しました。デートDV予防授業の必要性を理解し講師として活躍できる人の人材発掘の機会として実施されたものです。最初はどのくらい集まってもらえるだろうかと心配しましたが、最終的に、なんと16名の方の参加があり、これからの授業の継続・発展に夢が持てます！

今年度は、DVの基本を学ぶ講座と寸劇の授業を実施する座学を経て、各学校の授業を数回見学、その後寸劇のみ実施を数回経験してもらうスケジュールになっており、皆さん、積極的に仕事の合間を縫って時間を調整してくださり参加してくれました。

11月5日、最後の座学で振り返りをしたところ、授業をするにはもっと学びが必要との感想を多くの方からいただきました。次年度に向けて、当会の「授業者グループ」に参加されるかご希望をうかがったところ、今のところは見学が主かもと言う方も含めて8名の方が参加したいという意向でした。

皆さん、お仕事もあり、完全デビューまでには、もう少し時間がかかるかもしれませんが、次年度後半、新人講師の活躍を期待します。皆さま、応援よろしくお祈りします。



レモンタイムのミニミニ文化祭を初開催



皆で作った花の絵皿の展示

DV被害を受けた方の体験はそれぞれ様々ですが、同じ経験をされた方どうしが集ってわかちあうひときは、お互いにわかりあえることも多く、とてもエンパワーされる時間です。

月一回開いているレモンタイムのメンバーで、初めてミニミニ文化祭を開催してみました。

そのきっかけとなったのは「ベリーダンスを披露したい」というAさんからの声でした。当日は、Bさんのお子さんの3歳のKちゃんは、「ドレスを着ていきたい」とママと一緒におしゃれをして来てくれました。

文化祭のメニューは「季節の歌」をキーボードに合わせて歌い、「笑いヨガ」で大笑いをし、魚釣りならぬ「おやつ釣り」では、皆本気を出してはしゃぎ合いました。「HAPPYじゃんけん」では3歳から70歳代までが、欲しいプレゼントをGETするために「最初はゲー」と大きな声を出して真剣勝負。Aさんの「ベリーダンス」の演技には、一同「すごい！きれい〜」「ほれほれする〜」と見とれて、拍手喝采でした。踊り終えたAさんに「写真と一緒に撮りた〜い」駆け寄って、皆でにこやかに記念撮影。

「〜歌う・笑う・声をだす・動く・輝く・見つめる〜」そんな穏やかな時間を感じたミニミニ文化祭、また来年もぜひ、とさっそく希望がありました。（K・Y）



☆令和5年度 ララ元気ねっと特別支援事業☆

「歌って踊ってみんなで楽しもう会」 ～折り紙と音の世界へようこそ～

毎年、ララコープのご支援で、フラワーアレンジやいろんなイベントを企画し、楽しいひと時を過ごしています。今年は12月3日に開催しました。参加者はスタッフを合わせて30名。会場はクリスマスの飾りでムード満点。前半は折り紙の世界。折り紙講師の本多裕子さんの指導で、色画用紙のクリスマスツリーを作りました。本多さんから丁寧に説明されているにも関わらず、「えっ？」「あれ？」「先生、わかりませ〜ん」とあちこちから戸惑いの声。本多さんが各テーブルを回って教えて下さると、「なん〜だ、こうだったのか」「あーできた」とうれしそうな声。苦戦しながらもツリーの部分ができ、スパンコールをボンドでかわいく飾りつけて完成！小さい子の集中力のすごいこと！

後半は音の世界。スタッフのHさんの歌唱指導とキーボード演奏で「あわてんぼうのサンタクロース」「雪のふる街を」「一人の小さな手」を歌いました。事前に子ども達にはタンバリン、鈴、ペットボトルマラカスなどを渡していたのでとても楽しそうに鳴らしていました。

そして参加者のKちゃんのリードで歌手Aさんのハピネスに合わせて椅子に座っていてもできる簡単なダンスをみんなで踊りました。Kちゃんのお母さんや同じテーブルの人たちがKちゃんのそばで一緒に応援して踊っている姿がとても微笑ましかったです。最後は、じゃんけんゲーム。勝ち抜きでプレゼントコーナー

に行き、好きなプレゼントを選んでみんなニコニコ。一年ぶりに会った子ども達の成長ぶりも見ることができ、初めて参加されたCさんも「楽しかった！来年も来ます」と言って帰られました。

折り紙講師の本多さんも、「子どもが大好き」と、最後までお付き合いくださいました。体調が悪かったのに頑張って参加してダンスを教えてくれたKちゃん、そしてこのイベントに参加された皆さんのおかげで、今年も楽しく過ごせました。また来年も楽しい企画を考えます。ご期待ください。（Y・S）



～赤い羽根募金「使い道を選べる募金」ご協力のお願い～



今年のテーマは「デートDV防止授業時、生徒配布用ハンドブック作成」です。

募金額は60万円。 2024年1月1日～3月31日の 期間限定寄付です。

・振込用紙つきのチラシを同封していますのでご利用ください。

*お手数ですがATMでは振り込みができないため、郵便局窓口での振込をお願いします。

*来年(2025年)2月の確定申告手続きで所得税の控除ができます。

郵便振替口座 01870-8-22522 社会福祉法人長崎県共同募金会

通信欄に「住所、氏名、連絡先」を必ずご記入ください。

※昨年の赤い羽根特別募金では目標額66万に対し566,500円のご寄付をいただきました。

おかげさまで、「被害者が新生活に必要な家具家電品」を支援が必要な家族に届けることが出来ました。毎年、多くの方にご支援いただき、本当にありがとうございます。

助成金をいただきました。ありがとうございます！

☆国際ソロプチミスト(SI)長崎さま、SI佐世保さま、また新たにSI佐世保パールさまからも、デートDV予防授業への助成金をいただき、授与式では、各地域の学校での予防教育の実施状況についてなど、ご報告させていただきました。コロナが落ち着き、授業の見学もしていただけるようになり、授業者の励みにもなっております。



「ララ元気ねっとフェスタ」に参加しました！

11月11日(土)、かぶとがにアリーナで開催されたララ元気ネットフェスタ(25周年)に参加し、当会もブースにパネル展示を行いました。隣のブースにプライベートゾーンの絵が展示されており、たくさんの幼児向けの性教育やからだの絵本が並べられていて、同じような活動をされている「幼児版からだ探検隊」という団体があることを始めて知り、とても嬉しくなりました。舞台ではハンドベルやプロのような音楽の演奏があり、うっとり聞かせてもらい楽しいフェスタ参加でした。

☆☆DV加害者プログラムファシリテータ養成講座のご案内☆☆ ～ながさきDV加害者更生プログラム研究会 活動ご報告～

2017年にDV加害男性の更生を支援するべく設立した当会ですが、2024年に7年目を迎えようとしています。これまで、7回のプログラムを実施、延べ20数人が受講しました。現在、実施中の7クール目のプログラム受講者は1名ですが、グループの雰囲気は味わえなくても、ファシリテータがより深く関わることができるメリットがあります。DV加害男性が、苦手とするコミュニケーションの取り方、暴力を容認しがちな思考の癖など、丁寧に話しを聞きながら、解決方法を探るお手伝いをしています。2024年も、引き続きプログラム受講者を募集予定です。詳細は、WebのHP上に随時掲載いたしますので、関心のある方へ、ぜひ積極的にご紹介ください。

連絡はこちらへ

ながさきDV加害者更生プログラム研究会

<http://www.nondv.com/>





お勧めの本たち

「家族と厄災」

信田さよ子 著 生きのびるBOOKS

コロナに限らず震災などの「厄災」によって、それまで見ないようにしていた家族の問題が、一挙に表に出てくる場合があります。長年、家族の中の権力関係について、臨床心理士の立場から様々な著作をだされてきた信田さんの新刊です。マーカーで線を引きながら読もうとするとそうだ、そうだと納得の文章が次々に現れて、どのページもマーカーだらけになってしまいます。



「ACE サバイバー 子ども期の逆境に苦しむ人々」

三谷はるよ 著 ちくま新書

2024年1月28日に、研修会講師としてお招きしている三谷はるよさんの著作。子ども時代の逆境経験の影響についての諸研究を、素人にもわかりやすく整理し、その深刻さを明らかにしています。では、その子どもたちへの影響を最小限にするためには、どういう支援が必要なのか。その枠組みを作っていくのは社会全体の責任だという立場が明確で、視点があたたかく、重い内容でありながらも、読んでいて励まされる思いがします。まだできること、すべきことはたくさんあるという気持ちになる本です。



「子どもの傷つきやすいところの守り方」

こども 著 KADOKAWA

「児童精神科の病棟看護師」として、児童精神科に入院する子どもたちと長く接している著者。

「大人の不機嫌が子どもをいい子にさせる」には、ドキッとさせられました。「叱っても意味がないわけ」など、親なら心当たりのある内容にくわえ、自傷行為や自殺願望にどう対処するかといった重めのテーマまで対応。

親(大人)自身の心の守り方も親切に述べてあり、親自身も肩の力を抜くことができる一冊。(子育て時代に、もっと早く読みたかったなあ)。



これからのイベント

☆2024年第8回 ながさき・愛の映画祭 1月21日(日) 10:00～20:30



映画「最も危険な年」「アダマン号に乗って」「星に語りて～StarrySky～」
その他にも、ベストフレンドマッチング、ヒューマンライブラリなどイベントたくさん

会場：長崎県勤労福祉会館2F対面で開催

料金：前売券1000円 当日券1200円 <https://nagasakiainoeigasai.jimdofree.com/>

☆第30回性教育長崎セミナー

「ゼロから学ぶ障害のある子ども・若者のセクシュアリティ」

日時：3月3日(日) 9:20～受付

会場：諫早市社会福祉会館(午前中の講演のみ録画配信も有り)

主催：長崎県“人間と性”教育研究協議会 <https://na-seikyokyo.jimdofree.com/>



☆上野 千鶴子氏(WAN理事長)・信田 さよ子氏(原宿カウンセリングセンター顧問) 講演会

日時：2024年3月17日(日) 13:00～(予定)

会場：熊本学園大学14号館 高橋守雄記念ホール

参加費：前売り1,500円 要申込：申し込み開始2月初旬予定

主催：NPO法人ウィメンズ・カウンセリングルーム熊本 熊本市男女共同参画センターはあもにい

デートDV防止全国ネットワーク スプリングフォーラム2024

***今年は 完全オンラインで 開催**

令和6年3月10日(日)10:00～17:00 参加費4000円(録画視聴あり)

「ここから始まるヘルシーレーションシップ ～対等で大切にしたい関係をあたりまえに～」

・基調講演 シオリーヌさん(助産師/性教育YouTuber)

・企業の取り組み紹介 デロイトトーマツ グループ

・「発達がゆるやかな人に伝えるデートDV予防教育

～放課後等デイサービスAngeの性教育の実践から」

郡奈美さん 株式会社徳洋福祉会 Ange(アンジュ)

・「多様な性の視点から考えるヘルシーレーションシップ」

松岡宗嗣さん一般社団法人fair代表理事

☆ 申し込みはこちらから <https://notalone-ddv.org>

DV防止ながさきの電話相談・SNS相談

暴力を我慢する必要はありません。週4日、夜も電話を受け付けています。
何度かけても構いません。秘密は守ります。名前を言う必要はありません。
夫や恋人との関係、今のこと、昔のこと、心に引っ掛かっていることをとにかく話
してみませんか？ 必要があれば専門機関へつなぐこともできます。



※ 面接は要予約です。安全な場所でお話を伺います。

月・水・土 13:00～17:00 ☎ 095-832-8484

月・水 19:00～21:00 ☎ 095-832-8484

火 17:00～20:00 ☎ 080-2794-8022

* SNS相談

月 午後 15:00～20:00 履歴が残らないシステムです。安心してどうぞ。

チャット相談は 右のQRコード(HP)から

